

湖北の文化世界へ

滋賀県初の栄誉



〈ユネスコ無形文化遺産分布図〉

今回登録される33件の「山・鉦・屋台行事」

東北	八戸三社大祭の山車行事	中部	魚津のタテモン行事	中部	犬山祭の車山行事
	花輪祭の屋台行事		高岡御車山祭の御車山行事		桑名石取祭の祭車行事
	角館祭りのやま行事		城端神明宮祭の曳山行事		鳥出神社の鯨船行事
	土崎神明社祭の曳山行事		青柏祭の曳山行事		上野天神祭のダンジリ行事
関東	新庄まつりの山車行事	近畿	高山祭の屋台行事	九州	京都祇園祭の山鉦行事
	日立風流物		古川祭の起し太鼓・屋台行事		長浜曳山祭の曳山行事
	烏山の山あげ行事		大垣祭の軋行事		戸畑祇園大山笠行事
	鹿沼今宮神社祭の屋台行事		知立の山車文楽とからくり		博多祇園山笠行事
	佐原の山車行事		須成祭の車楽船行事と神葎流し		日田祇園の曳山行事
	川越氷川祭の山車行事		亀崎潮干祭の山車行事		唐津くんちの曳山行事
	秩父祭の屋台行事と神楽		尾張津島天王祭の車楽舟行事		八代妙見祭の神幸行事

東北、関東、中部、北九州に多く分布していることがわかります。この33件の中で子ども狂言を伝承しているのは、長浜曳山祭のみで、大きな特徴となっています。

ユネスコが無形文化遺産登録とは
ユネスコが登録している遺産等は、世界遺産、無形文化遺産、記憶遺産などの6つがあります。
今回長浜曳山祭などが登録された無形文化遺産は、芸能、社会的慣習、儀式および祭礼行事などの文化遺産を登録するもので、2003年にユネスコ総会において採択された無形文化遺産保護条約に基づいたものです。現在全世界で336件登録があり、うち22件が日本となっています。(2015年12月現在)

日本のこれまでの無形文化遺産登録は、歌舞伎、紬、和食、和紙など日本を代表する文化であり、これに登録される意味は大きいものがあります。

湖北の文化の結集としての

長浜曳山祭

湖北地域は、古代から豊かな農業生産と多くの人の往来があることから、経済的に発展し、集落では、太鼓踊りや神輿などの祭礼文化が栄えました。

また、草野槍や国友鉄砲などの生産を支えた職人たちの技術が、浜壇などの生産につながり、職人文化が花開きました。

11年間途絶えた子ども狂言が戦後初めて行われたときは、狂言を小谷丁野町の子どもたちが演じました。戦後の混乱で、長浜では上演の準備ができないうちに、丁野の振付師富士松山楽に上演を委託したことによるものです。山楽は自身の孫を含む12人の丁野の子どもを連れて上演しました。

このように長浜曳山祭は、長浜中心市街地の祭ですが、祭礼文化・職人文化・芸能等幅広い湖北文化の結集といえます。

ユネスコ無形文化遺産登録に係る評価のポイント

- ・地域の人々が一体となって、文化の粋をこらした行事であること。
- ・曳山を伝統的な工芸技術により、何世紀にもわたり維持してきたこと。
- ・奉納狂言などの行事のために、年間を通じて準備や練習に取り組んでいること。
- ・曳山祭のコミュニティは、無形文化遺産の保護にあたり全世界のモデルと評価されたこと。



長浜曳山まつり

お祝いの言葉



長浜市長 藤井 勇治

ユネスコ無形文化遺産登録誠におめでとうございます。長浜市民を代表してお祝い申し上げます。この登録は、長浜曳山祭が世界に認められたということでございます。大変嬉しく、また身の引き締まる思いです。これからは、長浜市だけでなく滋賀県を代表する祭としての誇りと気概をもって、全世界に滋賀・長浜の文化を情報発信し、未来永劫この祭を伝えていただきますようお願いしております。

ごあいさつ

長浜曳山祭ユネスコ無形文化遺産登録推進会議

会長 山田 富造



今回の登録は、長浜曳山祭に携わる者として大変誇りとなり、長浜曳山祭に無限の価値が生まれたことを喜んでおります。また、これは綿々と受け継がれてきた曳山文化を後世に伝える一つの節目となりました。礼に始まり礼に終わる。長浜曳山祭の心意気を後世に伝えることは、長浜市の発展にもつながると思います、この登録を機に、祭の伝承にますます磨きをかけていきたいと考えております。

今回の登録を記念して、来春の長浜曳山祭本日に、全基が御旅所に勢揃いします。



〈平成5年 長浜曳山祭12基集合写真〉

高円宮殿下記念地域伝統芸能賞受賞

10月29日(土)に長浜で開催された日本の祭り in ながはま 2016において受賞。今回の登録に先駆けて栄誉ある賞を賜りました。

